

世界遺産登録への道

平成20年度の世界遺産登録を目指している平泉の文化遺産。先月号までの広報おしゅうでは、昨年度開講された歴史講座の内容を中心に、皆さんにお知らせしてきました。ここでは、昨年度の登録作業を振り返りながら、今後の予定と課題などをお知らせします。

○「推薦書」の完成と受理

世界遺産。最近では、関連するテレビ番組も増え、また新聞などでも報道される機会が多くなりましたので、皆さんにとっても身近な言葉になってきたのではないのでしょうか。



完成した登録推薦書

ご存知のとおり、岩手県にも日本で15番目の登録を目指している「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観―」があります。この名称は、日本国政府が国連のユネスコに推薦するに当たって付けられたものです。ここにはその名が見えませんが、市の2つの国指定史跡、すなわち白鳥館遺跡（前沢区）と長者ヶ原廃寺跡（衣川区）が含まれています。

市は、この2つの遺跡を世界遺産に登録すべく、文化庁・岩手県の指導のもと、平泉町・一関市とともにさまざまな作業を進めてきました。その中で最も重要なものが、「推薦書」の作成でした。ユネスコが登録を審査するためにはまず、政府が世界遺産にしようとする建築や遺跡などを推薦しなければなりません。その登録審査のための資料が推薦書なのです。

平泉の文化遺産にかかわる推薦書は、昨年12月26日に外務省を通じてユネスコに届けられ、無事受理されました。これにより、国内の手続きは一応完了したことになります。

○これからの予定と課題

登録までの1つの山場である推薦書の提出により、国内でできる手続きが完了しましたが「あとは審査の結果を待つばかり」というわけではありません。この審査には、ことし9月ごろに予定されている現地調査も含まれています。これは推薦書に記された事柄が事実かどうかを確認する重要な作業のひとつで、本年度の大きな山場と言えるでしょう。市は当面、国はもちろん、県や関係市町と連携しながら、現地調査に臨むこととなります。

また、世界遺産登録でよく言われることですが、登録はゴールではなく、スタートです。世界的に見て、その登録物が貴重であることは言うまでもありませんが「世界遺産」とは、現地の人たちだけではなく、世界の人たちにとって等しく重要な建築物や遺跡を後世へ責任を持って守っていくという「仕組みづくり」でもあるのです。順調に進めば「平泉―浄土思想を基調とする文化的景観―」が登録されるのは平成20年の夏ごろです。



昨年行なわれた国際会議時に、海外の専門家が中尊寺を視察した様子

それまでに、行政だけでなく地域社会全体でこの貴重な遺産を守りながら、さらに活用していく仕組みを作り上げなければなりません。

市は、これまでどおり、市民の皆さんのご意見を参考にしながら、登録推進作業に取り組みたいと考えています。広報おしゅうでは、本年度「世界遺産になった後、遺跡を守るにはどのようなことが必要なのか」、また「市がどのように取り組んでいるか」を年間を通して紹介していく予定です（ガイドの養成や各小学校への出前授業の様子など）。（文：世界遺産登録推進室 ■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線313）

室（前沢総合支所内線313）

地域安全情報



©S.MATSUSHITA ENT. 防犯マスコット『CPくん』

子どもを犯罪被害から守ろう

現在、市内各地域の防犯協会や振興会が中心となって、「子どもの安全対策の推進」を重点とした「春の地域安全運動」を実施しています。

全国で子どもの命が奪われる悲惨な事件が多発しています。幸い市内で凶悪犯罪は発生していませんが、いっどこで発生してもおかしくありません。このような犯罪を防ぐために、まず子どもに自分を守る知識を身に付けさせること、そして家庭や学校だけでなく、地域ぐるみで子どもを守る取り組みが非常に

重要になっていきます。

■「イカのおすし」を徹底

子どもが犯罪に遭わないようにするため、次のことをしっかりと身に付けさせましょう。

知らない人にはついていかない。

知らない人の車にのらない。「助けて」とおこえで叫ぶ。こわかったらすぐ逃げる。家の人や先生に知らせる。

また遊びに出掛ける時は「どこで」「だれ」と遊ぶのか、必ず確認しましょう。

■地域の連携が犯罪を防ぐ

子どもが被害に遭う時間帯は、下校時に集中しています。

現在、地域の防犯組織、各小学校から委嘱されたスクールガードの皆さんなどが腕章やジャケットなどを着用し、下校時の見守り活動を行っています。その効果の表れとして、最近市内では子どもへの「声かけ事案」がほとんど発生していません。犯罪者が嫌うのは地域の連帯感です。この見守りの活動が、空き巣や車上狙いなどほかの防犯活動にもつながります。ぜひ、各地域で行われている活動に参加し、さらに地域の輪を広げましょう。

お元気ですか 市長です！



奥州市長 相原正明

4月1日の前沢温泉舞鶴の湯の温泉まつり当日は、紅梅が咲き初め、鶯が鳴く、誠に良い日和でした。新年度もこうあってほしいと、思わず願いました。

合併実質初年度の昨年度は、

得て、市総合計画10カ年計画を策定するとともに、財政の裏づけを確保し、行政の効率を高めるため、行財政改革大綱を定めたところです。私自身のマニフェストの実現についても予算化を進め、必要プロジェクトを立ち上げました。

市民団体の側でも、社会福祉協議会、体育協会、芸術文化協会の統合など、新市の一体感を進める取り組みが随所で行なわれております。

昨年度末、存廃問題で大きく揺れた岩手競馬も存続で決着するとともに、市財政の安定を見ることができました。合併して良かったと市民の皆様我真に思っていただけのように、さらに邁進いたします。

無我夢中で駆け抜けた1年であつたと思います。

合併時の約束ごとを確実に実施するため、新市建設計画の、いわば仕上げ・確定作業を年末までに行いました。年明けには、議会の議決を

お元氣レシピ

地産地消応援メニュー ⑬

りんごのおふかし



材料（10人分）

もち米……………5カップ
りんご……………1個
サツマイモ……………小1本
塩……………小さじ2
水……………1.5カップ

作り方

- ①もち米は水洗いし、吸水させておく
- ②りんごは皮つきのまま、サツマイモは皮を取り1.5等角に切る
- ③もち米を約10分蒸し器で蒸す
- ④用意した塩と水で塩水を作る
- ⑤ボウルに蒸した米を移し、サツマイモ、りんごを入れる。塩水を入れてかき混ぜ、再度10分位蒸す

わたしたちが作りました



奥州市江刺区食改善推進協議会の皆さん

今回のレシピでは、酸味のあるりんごを選んだ方がおいしく召し上がれるようです。またりんごに含まれる腸の掃除役の「食物繊維」には、便秘の改善やコレステロール抑制などの効果が期待されます。成人では1日半個が目安です。